

定期検診で早期発見を

取材協力／海老名総合病院

国が進める「女性特有のがん検診推進事業」を受けて海老名・綾瀬両市でも、特定の対象者に対して子宮頸がん、乳がんの検診無料クーポンを送付した。そこで今回、10月30日に、海老名市医療センターで開かれる、市民健康講座で講師を務める内山喜一郎先生（海老名総合病院病院長）に話を聞いた。

「私だけは大丈夫」と安心しないで

まずは1次検診を

「乳がん検診はどのように受けるのですか？」

海老名市では、1次検診を県予防医学協会に委託し、市保健相談センターで行っていて、今年度は19回行います。1次検診は「視触診」と検診車を用いての「マンモグラフィ」による検診ですが、そこで異常が見られた方が2次検診として当院をはじめとした各医療機関に受診となります。このほか一部の委託医療機関でも受けられますが、視触診のみです。

「検診はどのようなものですか？」

まずは医師による視触診です。ただこれだけでは早期発見が困難なためマンモグラフィ検査も行います。マンモグラフィは乳房を挟んで上下左右を撮影します。X線の影響を心配され

る方も多いと思いますが、東京からニューヨークまで飛行機で往く（片道）際に自然に浴びる量と変わらないといわれていますので、毎年受けても影響はありません。2次検診で使われる超音波（エコー）検査は、乳腺の発達した若い女性や妊婦にも適しており、乳房を挟む必要はありません。

「受診率の低さが問題視されていますか？」

問題点はいくつかあります。恥ずかしい、仕事や家事の忙しさ、さらにもし自分のがんが見つかったらと、二の足を踏んでしまうのが原因でしょう。また有名人や周りの人が乳がんを患うことがないと積極的な受診に繋がらないのが現状です。ですが、今回の無料クーポンのように、市の検診は費用が安い上に短時間。その上、さまざまな相談に乗ってくれますので是非受診してください。

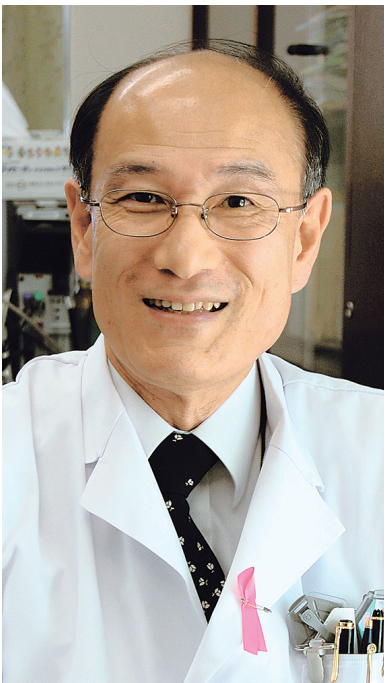
「リピーターが多いと聞きますか？」

一度受診された方は検診内容が分かっているので、比較的積極的に受診しているようです。誕生月前後などに定期的に受診している方もいます。

愛する人のために

「読者へメッセージをお願いします。」

乳がんは早く発見して治療すれば治ります。当院の患者さんでも完治している方はたくさんいます。乳がんは決して他人事ではありません。日本人の20人に一人が乳がんにかかるといわれています。「私だけは大丈夫」と思わず、この機会に是非受診してください。自分のためであることはもちろん、大切な家族や愛する人のためにも早期発見を心がけましょう。



海老名総合病院 内山 喜一郎 病院長